第65回日本内科学会講演会（1968年）

シンポジウム 内科領域における遺伝学*

司 会 九州大学教授 柳 瀬 敏 幸

ま え お き

SYMPOSIUM ON GENETICS IN INTERNAL MEDICINE

Moderator: Toshiyuki YANASE, M.D.

Professor of Kyushu University

近年における病気の型のいちじるしい変化と、一方、基礎の遺伝学のめざましい進歩により、このたび本学会でこのような「遺伝」にかんするシンポジウムがとりあげられたかと存じますが、内科学会としては久しぶりの話題でありますので、焦点をしぼらずに、かなり内容の異なつた四つの主題、すなわち遺伝子、染色体、形質の生化学的分析、成人病というようにミクロからマクロのレベルに向い主題を並列させて、各演者にお話し願

うことにいたしました。

多少焦点に欠ける嫌いがあり、また中には主題として大きすぎるものもありますが、遺伝学の内科学に対する貢献という観点から、共通の話題を見出していこうとするものであります。その知識が現在どの程度まで進み、将来内科学領域においてどのような効用を発揮し、また発展性を持つているかといったことをお汲みとりいただければ、幸いです。

* 本シンポジウムは1968年4月2日東京都新宿区東京厚生年金会館にて行なわれた。